



# あ い の

【熊野古道】

Vol.24

平成27年9月発行

## Contents

- ・ 地域医療連携センター設立
- ・ あいのまちの保健室開催
- ・ 新任医師紹介
- ・ あいの認知症プロジェクトNo. 8

# 地域医療連携センター 設立

平成27年4月から、より円滑に地域医療を進めるために、今までおのこの別部署であった入退院支援室、地域医療連携室が一緒になりました。また医局より医師、病棟より看護師が組織に参加するようになり、今までのケースワーカーに加え、直接病棟に関わる職種が一つになり入退院支援、ベッドコントロールなどの具体的な入退院支援プランの策定に参加できるように設立されました。



山本 直宗  
地域医療連携センター長

当院には以前より地域医療連携室や入退院支援室が入退院などに携わってきましたが、救急の患者を受け入れたりする機会が多くなり、事前の患者さんの状態の正確な把握、柔軟な入退院の対応に苦慮することが稀ならず遭遇する機会もありました。また当院は内科、外科のみならず老年科、精神科など一人でたくさんの疾患を有する患者様が多い中、入院の際にはどうしても他施設より多職種の人が関わることが多く、その調整にはケースワーカーのみならず医師や看護師などが参加することにより、今まで以上にスムーズな入退院のシステムを確立していくことが可能となり、現在着々と進んでいる状態です。

幸いなことにセンター発足後、新規の入院患者は増加しています。ただ現在の日本の医療状況ではひとつの病院だけではとても地域の患者様を見る受け皿としては不十分であり、かかりつけ医の先生方や、老健施設、老人ホームなどの中間施設、他の病院と協力し、地域全体をカバーできる病病連携、病診連携の構築を目指していきたいと思っていますので、何卒ご協力の程宜しくお願いします。



田岡師長

福岡師長

中島看護師

金城副部長

地域医療連携室は、ソーシャルワーカーと事務員で構成されており、入院から退院までの調整、近隣の医療機関や診療所との連携、精神保健福祉法の文書管理など多岐に渡って業務を行ってきました。

今回、平成27年4月より地域医療連携センターとして業務を一元化し、医師や看護師が配置され、そこから各職種の特性を活かして細分化することとなりました。センターの発足に伴い、院内での連携強化や地域の方々に分かり易い窓口作りを目指し、患者様のよりよい支援に貢献できればと考えています。

平成27年4月から、地域医療連携センターに看護師4名が配属になりました。現在の主な業務としては、入院から退院までの病床管理と外来や地域からの緊急・予約入院の対応を行っています。

毎朝、各病棟の師長と話し合いを行い、患者様が安心して医療・看護を受けていただけるように入院時の病床調整を行っています。また、看護師とソーシャルワーカーが連携し、それぞれの専門知識を活かしたスムーズな入院の受入れや退院支援ができるように、院内での連携を強化し努力していきたいと思っています。



鈴木SW

大西SW

又野SW

浅山SW

森田SW

吉田SW

福井事務員

高橋SW

笹川事務員

榎本SW

二宮SW

TEL:072-627-7611 (代)

FAX:072-627-3627

入院のご相談は「地域医療連携センター」まで



【体力測定】



【生き生き体操】



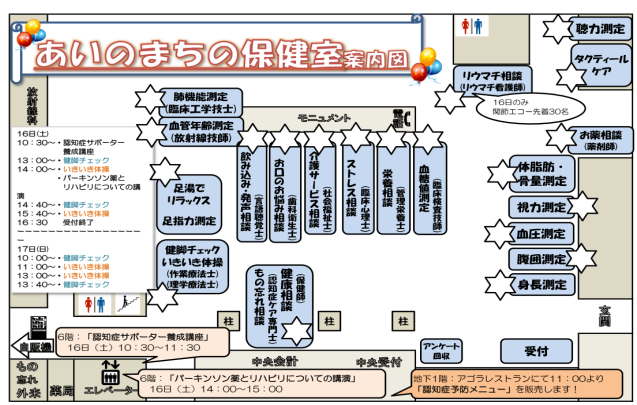
【健康相談】



【足湯コーナー】



【リウマチ相談】



かんばら きよと  
就任医師紹介 神原 清人 (整形外科)

子育て奮闘中の整形外科の神原と申します。昭和62年に大阪医科大学を卒業し、整形外科の研修を約6年間経験した後、博士号の修得のため解剖学教室に入り、整形外科の助手、解剖学教室の講師を経て、辻外科リハビリテーション病院を退職し本年5月より当病院に入職しました。大学では主に膝、股関節や関節リウマチを専門に治療を行ってまいりました。当病院では地域に根ざした医療を行っていきたくと考えており今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



あいの流  
パーキンソンダンスの会  
～ダンスを通じて元気になろう！～  
第5弾

日誌：平成27年11月4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)  
11:00～12:00 (受付10:45)

※1日のみの参加もOKです☆  
場所：藍野病院 6階研修室  
集合場所：総合受付前 (10:45までにお集まり下さい)  
内容：①全身のストレッチ  
②音楽に合わせたリズム体操  
③頭の体操を取り入れた腕や足の運動  
④ステップ練習、パラス練習



目的：リズムに合わせて動きやすい身体を作る  
ダンス前後で歩行スピードやバランスを測定します (可能な方のみ)  
参加条件：パーキンソン病の方 (パーキンソン症候群の方も含む)  
ご自身で立ち座りが可能であれば参加できます！  
参加費：無料 人数：12名程度 (初回の方優先となります)  
＜薬剤師によるお薬相談コーナー＞  
ダンス終了後にお薬の相談ができます。気軽に相談下さい。

申し込み期間：H27年10月1日～各日時の1週間前まで  
申し込み・問い合わせ：072-621-3719 (リハ直通)  
藍野病院リハビリテーション部 担当：小西・山田



藍野病院リハビリテーション部主催

## あいの認知症プロジェクト No8 ～タクティールケア～

タクティールケアとは、相手の手や背中にゆっくりと包み込むように触れることにより、不安な感情を取り除いたり、痛みを和らげたりする効果があるとされるスウェーデン生まれのタッチケアです。日本においても、医療・介護・福祉の現場を中心に、認知症の周辺症状の緩和や癌のターミナルケアの現場などで取り入れられています。

「タクティール」は、「触れる」という意味を持つラテン語の「タクティリス (taktilis)」に由来します。その言葉が示す通り、タクティールケアはつぼや筋肉を刺激するマッサージとは違い、優しい接触を継続的に行うことが特徴です。それにより安静ホルモンとも呼ばれているオキシトシンの分泌を促し、オキシトシンが体内に広がることで、ストレスに反応して分泌されるコルチゾールというホルモンのレベルを低下させ、安心感をもたらすといわれています。実際に施術を受けた患者さんからは「気持ちよかった」「手がぼかぼかと温かくなった」との感想をいただいています。



当院では看護師、病棟クラーク、臨床心理士の計8名がタクティールケア I の研修に参加し、認定資格を得るための実習を行っています。

この春から、あいの認知症プロジェクトにも加わりましたので、全員で資格取得を目指し、患者さんが感じておられる不安や苦痛を少しでも和らげられるように、活動の場を広げていきたいと思っています。

### 平成27年9月～10月 講座・セミナーのご案内

9月5日(土) 大阪糖尿病アカデミー (ODA)

場所 大阪医科大学研究棟12F

講演 山本直宗(藍野病院 内科医長) 『認知症と糖尿病～症例を交えて～』

対象 医療関係者

9月10日(木) 阪南市主催 ヒューマンライツセミナー 13:30～15:30

場所 阪南市立文化センター

講演 杉野正一(藍野病院 院長 神経内科) 『認知症の早期発見・早期治療』

対象 医療機関対象者

9月10日(木) 第6回見える事例検討会 15:30～17:00

場所 藍野病院6階研修室

対象 医療・福祉関係者

9月12日(土) 第7回認知症ケアスタッフのための認知症講座 13:00～16:30

場所 藍野大学中央図書館

講演 上村直人(高知大学教育研究部医療学系臨床医学部門講師)

『認知症と自動車運転～今知っておくべき我が国の認知症ドライバー対策と専門職のできること～』

佐々木恵雲(藍野大学短期大学部 学長)

『生と死を見つめて～医師として、僧侶として～』

対象 医療・福祉関係者

10月17日(土) 平成27年度市民公開講座『はつらつ長寿をめざして 寝たきりストップ!』 14:00～16:00

場所 茨木市立生涯学習センター きらめきホール

講演 楊 鴻生(藍野大学医療保健学部 特任教授) 『骨粗しょう症の予防』

辻 理絵(藍野病院 脳神経外科) 『脳卒中の予防』

永友良純(茨木市高齢者支援課) 『つなぐ! 役立つ! 「はつらつパスポート」』

杉野正一(藍野病院 院長) 『認知症の予防』

対象 地域住民

10月29日(木) Diabetes Expert Seminar ～iNSULINとGLP-1受容体作動薬をもう1度考える～ 18:55～20:45

場所 ハービスPLAZA 5F 会議室⑧⑨⑩

講演 吉田麻美(藍野病院 内科副部長)

『認知証発症予防を見据えた糖尿病治療のHow to』

対象 医療関係者

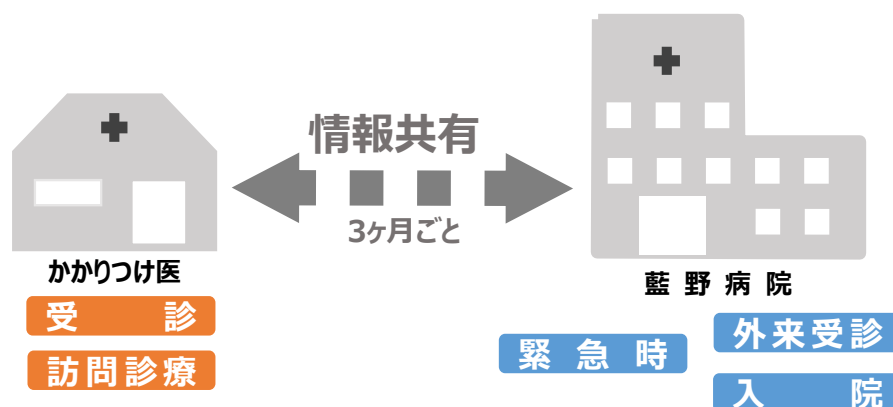
## ご自宅で療養される方を支えるために 新たな体制でスタートします。

### その1 「在宅療養後方支援病院」になりました

どうのこと？ 安心して療養生活が続ける事ができるよう、事前に受診や入院のための病院を登録しておく制度です。当院は、その届出を行いました。

#### 登録者様の2つの安心

- 24時間いつでも診療を行います。
- 必要に応じてすぐに入院治療が可能です。



### その2 時間外受け入れ体制を延長しました

5月18日より



午後8時まで  
月～金（平日のみ）

開業医の先生方の診療時間に合わせ、医師およびコメディカルスタッフを配置し、迅速な緊急患者様の受け入れが可能となりました。

#### お問い合わせ

「後方支援病院の件」とお伝えください。

#### 地域医療連携センター

TEL 072-627-7611

FAX 072-627-3627